

ふれあい キッズ

大きなお芋に育ってね

妹背牛小学校 1年生 (20名) 2年生 (13名) が5月16日、ふれあい農園において、ジャガイモなどの種を植える農業体験をしました。土に触れ、作物の成長の様子を学び、育てた作物を収穫し食べ物大切さや感謝の気持ちを育むため毎年実施されている事業。

農業指導員の佐藤さんからイモの植え方と元



気に育つおまじないを教わると、子どもたちは、強い風が吹く中、種イモを一生懸命に植えています。その後はトウモロコシも

植えて、「大きくなあれ、甘くなあれ」と教わったおまじないを唱えていました。「今日は風の強い中、一生懸命頑張りましたね。収穫の時にまたみんなに会えるのを楽しみにしています」と佐藤さんからお話があり、児童たちも収穫するのを楽しみにしている様子でした。

今日の夕飯は任せて



5月25日、町保健センターにおいて男の料理教室が開催されました。この日のメニューは「魚の包み焼き」、「洋風きんぴら」、「卵入り野菜スープ」、「フルーツヨーグルト」。土井栄養士より作る順番や食材の切り方などの説明を受け調理スタート。玉ねぎのみじん切りは参加者のほとんどが初めてだということでしたが、実践になると、皆さん見事な包丁さばきで難なくみじん切が出来上がりました。調理を楽しむのはもちろん、塩分やカロリーについても熱心に説明を聞いたり、気になることを質問したりと、健康に大きく関わる食生活に深い関心を寄せていました。

役場前が花いっぱい

6月8日、町老人クラブ連合会(石原敏之会長)が、老人福祉センター前で花植え作業に汗を流しました。この作業は例年同クラブの社会奉仕活動として行われており、役員ら17名が参加。スコップを手に慣れた手つきで土と肥料を混ぜ、約40個のプランターに土を入れて行きます。用意されたマリーゴールドやペチュニアなど約160株が彩りよく植えられ、同時にプランターを置く場所もきれいに掃除がなされました。

プランターは、老人福祉センターや役場前周辺に並べられ、訪れる人の目を楽しませてくれます。



新鮮な野菜いかがですか

5月20日、「SUN工房あぜみち」がオープンしました。色とりどりの花々、青々した野菜の苗などが所狭しと並べられた直売所。この日は天候も良く人の入りも上場。家庭菜園用にと野菜の苗などを買い求める人が多く見受けられました。朝どりの地野菜が店先

にお目見えする時期になると、お客さんの数もぐんと増え、直売所も活気づき忙しさもピークを迎えます。手作りの味噌やトマトジュース、二五八漬けの素などは町外からも買い求めに来る方が多く毎年人気の商品になっています。

皆さんも地産産の美味しい野菜や、手作り商品をご賞味してはいかがでしょうか。



警察署を訪問しました



5月13日、妹背牛小学校4年生14名が深川警察署を訪れました。飲酒運転体験、反射材の効果説明に続き、パトカーの見学と乗車で児童たちは大喜び。その後、鑑識の仕事体験。係の方に指紋採取の説明を受け実際に瓶に付着している指紋を真剣な面持ちで採取しました。研修の終わりに講師の方から「人の命が亡くなってしまう事件・事故は一番悲しいです。学校に戻ったらもう一度、命の大切さについて考えてみてください」とのお話がありました。住民の安全を守るという仕事を学び、将来、この中から「警察官」が誕生することを期待したいですね。

2年生ふまねつと体験

わかち愛もせうし広場で毎週水曜日に行われているふまねつと運動。6月1日、妹背牛小学校2年生11名が訪れ、国語の授業の一環としてインタビューの活動をしました。最初は緊張気味にふまねつとの参加者へ質問



していた2年生でしたが、質問の時間が終わるころには打ち解けたようで、その後は、ふまねつと運動に挑戦。この日の参加は23名。床に置かれた碁盤の目のネットを踏まないように歩きます。いつもと違うかわいいメンバーとの運動に、参加者も思わず笑みがこぼれていました。

親子でいい時間

乳幼児を対象とした社会教育事業「子育て未来塾」(町教育委員会主催)の一環で6月3日、保健センターにおいてベビーマッサージ教室を開催しました。この日の参加は、7組の親子。まずは、お母さんにオイルマッサージを体験してもらおうと、講師の方がお母さんの腕をマッサージ。「気持ちがいいし、すべすべ」と好評で、今度は、お母さんが赤ちゃんへ優しくオイルマッサージ。裸になった赤ちゃんはご機嫌で動き回っていましたが、お母さんの手で優しくマッサージされると気持ちよく眠ってしまいそうな様子。親子で癒しの時間を堪能しました。この教室は秋

にも予定されています。お子様と一緒に癒しの時間を過ごしてみれば。

